

令和5年1月29日（日）、30日（月）に開催した「国分寺都市計画道路
3・4・6号小金井国分寺線説明会」でいただいた主な質問と回答を掲載い
たします。

[問い合わせ先]

○今後の事業に関すること

東京都北多摩北部建設事務所 工事第一課 設計担当

〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-15-19

電話 042-540-9553

○これまでの事業や踏切に関すること

国分寺市建設環境部 建設事業課 事業計画担当

〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1

電話 042-325-0111（内線379）

【事業スケジュール】

質問1 工事着手から完成までのスケジュールを知りたい。

回答 令和5年度から工事に着手する予定です。現在、設計等の検討を進めているため、具体的な完成時期は未定です。早期の完成を目指して事業を進めていきます。

なお、道路の規模や現場条件等が異なるため参考ではありますが、本路線と同じように道路が鉄道をアンダーパスする新小金井街道の小平グリーンロード立体の事例では、工事着手から約7年で交通開放しています。

【道路構造】

質問2 アンダーパス部の延長はどれくらいか。

回答 アンダーパス部の延長は約200mです。また、そのうち、トンネル区間の延長は約50mです。

質問3 アンダーパス部の深さはどれくらいか。

回答 一番深い場所で、将来の地表面から約8m下に車道の路面を、約6m下に歩道の路面を整備する計画です。

質問4 アンダーパス部の歩道の勾配はどれくらいか。また、車いすの通行を考慮した勾配となっているのか。

回答 アンダーパス部の歩道の勾配は、バリアフリーの基準を満足している5%で計画しています。

質問5 斜路付き階段の段数及び斜路の勾配はどれくらいか。

回答 階段の段数は40段程度、斜路の勾配は25%で計画しています。

質問6 トンネル部を夜間に通行するのは暗くて不安。防犯対策はどうなっているか。

回答 照明等については、関係法令等の基準に基づき設計していきます。併せて、地域の状況や将来の使われ方等を踏まえ、歩行者などが安心して利用できるよう対策を検討していきます。

質問 7 アンダーパス部の冠水が心配。

回答 アンダーパス部に集まる雨水は、ポンプ設備を設置し水をくみ上げて、適切に排水できるように計画しています。また、ポンプの排水能力を上回る雨が降り、アンダーパス部が冠水した際に備え、アンダーパス部の入口付近に注意喚起を行う電光表示板も設置する計画です。

質問 8 本路線と市道東 7 号線、市道幹 7 号線との交差点に信号機を設置してほしい。信号機はどこに設置されるのか。

回答 現時点では、本路線と市道東 7 号線、市道幹 7 号線との交差点には信号機は設置されない計画です。信号機は現在設置されている箇所と同じく、西恋ヶ窪一丁目交差点、熊野神社前交差点に設置される計画です。信号機の設置位置等については今後、交通管理者と調整していきます。

【通行方法】

質問 9 市道東 8 号線のアンダーパス横断箇所は、歩行者も通れるのか。

回答 市道東 8 号線は、自動車も歩行者も双方向に通行できる計画です。

質問 10 側道部は歩行者や自転車も通行が可能なのか。

回答 側道部は歩行者も自転車も通行可能です。

質問 11 本路線と市道中 8 号線の接続箇所は車両通行止めの計画となっているが、車両通行を可能にしてほしい。

回答 本路線の整備により、市道中 8 号線が接続する熊野神社前交差点は五差路の交差点になることから、安全性確保のため市道中 8 号線との接続箇所は車両通行止めとなる計画です。なお、今回の道路整備により、市道中 8 号線への通過交通の進入がなくなるため、市道の安全性も向上すると考えています。

【工事】

質問 1 2 工事中の通行ルートはどうか。

回答 今後、具体的な施工計画を立てる中で、工事中の通行ルートを検討します。沿道の車両出入りや通行については、極力確保できるよう努めます。車両や歩行者の通行に制限が生じる場合には、代替措置の検討や事前周知を実施し、工事へのご協力をお願いしていきます。

また、現在使われている事業用地内の暫定的な歩道は、工事中には無くさざるを得ませんが、できる限り長く使えるように施工計画等の検討を進めていきます。

質問 1 3 府中街道から熊野神社前交差点までを先行して交通開放できないのか。

回答 先行して交通開放した場合、府中街道側から車両が流入してくることで、現在の踏切に負荷がかかること等を考慮する必要があります。このような要素も勘案し、暫定的な交通開放の可能性も検討していきます。

質問 1 4 埋蔵文化財についての対応は。

回答 平成 19 年に遺跡の調査を実施済みです。今後、工事の実施に際しては文化財担当部局に立会をしていただくなど、引き続き関係機関と連携していきます。

質問 1 5 恋ヶ窪村分水(史跡)を分断するのでは。

回答 史跡に指定されている部分は分断しない計画です。

質問 1 6 姿見の池へ水を流している導水管への影響は。

回答 姿見の池へ水を流している導水管は、府中街道から国分寺 3・4・6 号線の下を通り、熊野神社前交差点で南方向へ向かって設置されています。一方、アンダーパス部の工事に伴い大きく掘削する範囲は、熊野神社前交差点から東側であり、導水管への影響はないと想定していますが、引き続き現在の機能が維持できるよう検討を進めていきます。

質問 17 地下水への影響は。

回答 工事前、工事中、工事後と継続して地下水位を観測し、工事により地下水への影響が考えられる場合には、対応を検討してまいります。

質問 18 事業費は。

回答 現在想定している事業費は、約 50 億円です。

質問 19 今後も説明会を開催してほしい。

回答 工事の実施に際してはチラシ等の配布により、沿道の皆様へ工事のお知らせをいたします。なお、規模が大きい工事を行う場合など、必要に応じて説明会の開催を検討していきます。

また、ご不明な点等については、パンフレットに記載の問い合わせ先にご連絡いただければ、担当者が個別に説明させていただきます。

【踏切・その他】

質問 20 現在の踏切を残してほしい。

回答 踏切道における事故等の防止を考え、安全性を最優先とし、国分寺 3・4・6 号線の立体交差部の道路供用開始にあわせ踏切は除却する計画です。

(国分寺市から回答)

質問 21 鉄道交差部をアンダーパスではなく平面整備はできないのか。

回答 法令の趣旨や安全性を鑑み、新たに踏切が必要となる道路整備はできないと考えています。

(国分寺市から回答)

質問 22 本路線が開通すると、ぶんバスの経路は変わるのか。

回答 本路線が開通した際には、ぶんバスの経路について検討していきます。

(国分寺市から回答)